

熊本県広報誌

くまもと

県からのたより

2002
8月号
No.32

熊本県の人口(6月1日推計) 1,856,696人 男876,283人 女980,413人

発行 / 熊本県広報課

ゆめを語る新幹線!

九州新幹線・鹿児島ルートの新八代〜西鹿児島間が二〇一三年末に、
「全線」は二〇一三年に完成予定です。そこで県民のみなさんに新幹線のある
将来の「くまもと」のゆめを語っていただきたいと思ひます。

新幹線ゆめ語り募集!

「作文部門」「絵画部門」(小・中学生の部)
「アイデア・提案部門」(高校・一般の部)
応募期限 / 9月10日(火)当日消印有効
お問い合わせ先 / 熊本県交通対策総室 ☎096-383-1111(内線3558・3560)
ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/traffic/sinkansen/yume/yume.html>

主な記事

- 2 特集1 / 市町村合併
- 4 特集2 / 子育て応援、介護支援で「ゆとりファミリー」の実現を目指します!
- 5 知りたい!県庁・くまもと女性特派員レポート
- 6 7 県からのお知らせ・くまもと物語
- 8 ^{くに}郷づくり通信・来て見てだより



パートナーシップ21くまもと



各地の取り組み状況はどうなっているの？

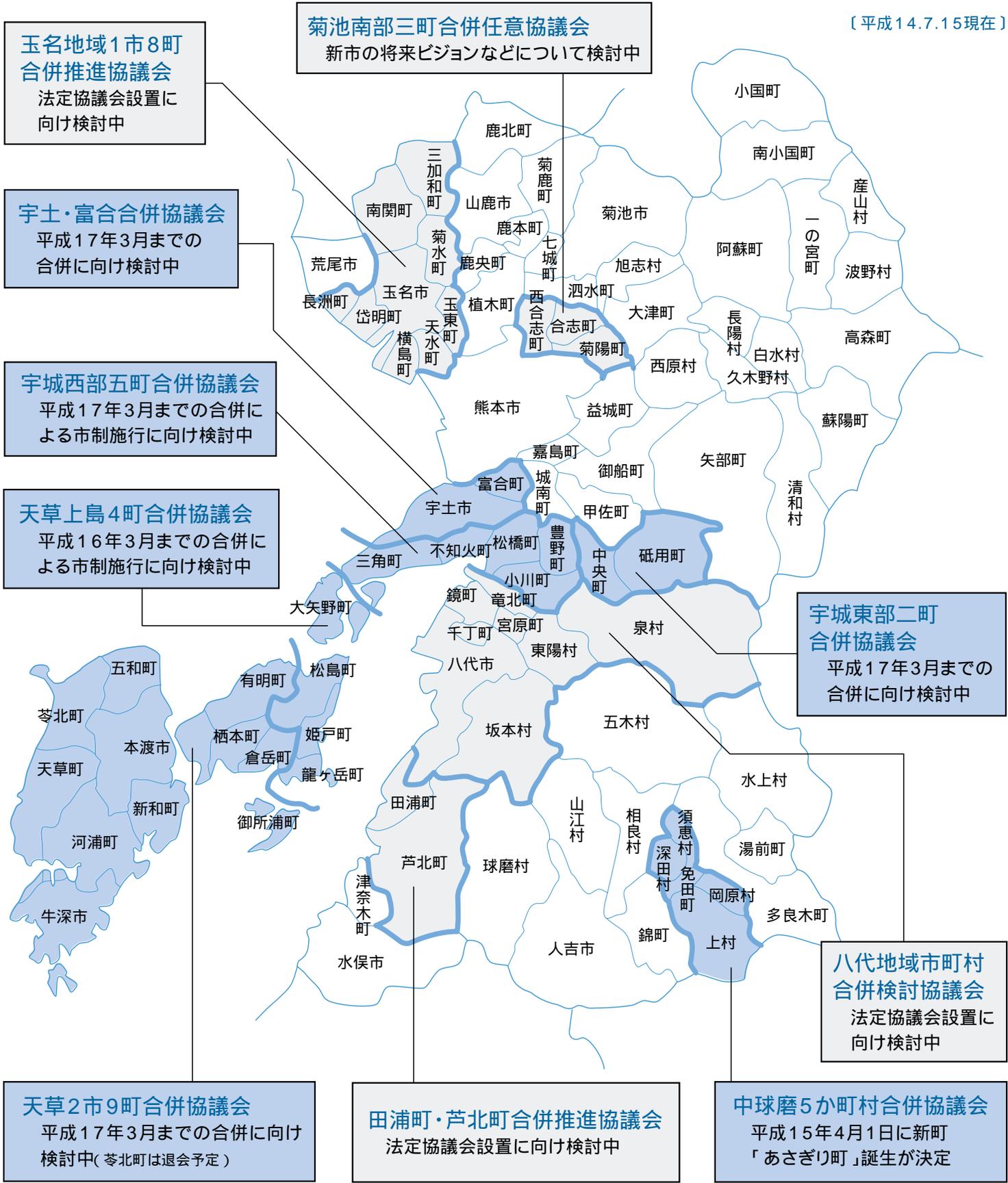
現在、県内には、合併に向けた具体的な検討を行うために、6つの地域で法定協議会が、4つの地域で任意協議会が設置されています。
その他の地域においても、勉強会などを設置して、協議会設置に向けた調整や具体的な枠組みなどについて積極的な検討が行われています。

特集1

市町村合併

みんなで考えたいな、未来のふるさと。

市町村合併については、昨年十月号の特集でも取り上げましたが、今回は、各地の取り組み状況を中心に紹介します。
未来のふるさとづくりについて
みんなで考えてみましょう！



■ 法定協議会 / 合併の是非も含めた協議を行うため、関係市町村の議会の議決を経て設置される法律に基づく協議会

■ 任意協議会 / 将来ビジョンや法定協議会で検討を行う項目などについて、協議を行うための任意の協議会

今、各地で合併に向けた取り組みが進められているのはなぜ？



少子高齢化の進展や住民ニーズの多様化など、市町村を取り巻く環境は時代とともに大きく変わってきています。市町村合併は、こうした環境変化に対応し、これまで以上に暮らしやすい地域をつかっていくための行政体制を整備することを目的として、現在、各地で具体的な取り組みが進められています。



具体的な検討はどこで行われているの？

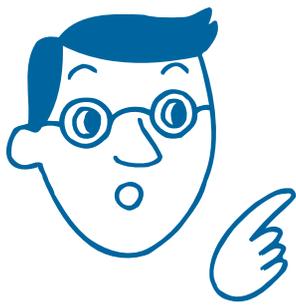
合併後の地域のあり方や合併の効果などは、一つの市町村だけでは十分検討できません。このため、合併の可能性の高い市町村間で話し合う場(「検討会」や「研究会」など「任意協議会」「法定協議会」)を設け、検討を行います。

中でも、合併の是非を含めた具体的な検討を行う段階では、法定協議会の設置が必要になります。法定協議会では、合併を契機に「どんな地域の将来像が描けるのか」など、皆さんの関心が高い事項について具体的に話し合いが行われ、その結果が、合併の判断材料として示されます。



〔法定協議会〕 関係市町村長や議会の代表者、学識経験者などで構成され、合併に関するいろいろな事項の検討が行われます。

私たちは合併に向けた取り組みに参加できるの？



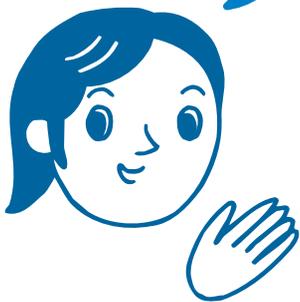
住民の皆さんが、合併を自分の問題として関心を持ち、自分の住むまちの将来について十分議論していただくことが大切です。

..... 私たちにできる取り組み

- 市町村などに対して合併に関する情報提供を求める。
- 座談会や説明会、シンポジウムなどへ積極的に参加する。
- 法定協議会などを傍聴する。
- 法定協議会設置の直接請求(有権者の1/50以上の署名が必要)ですを行う。など



今こそ、未来のふるさとづくりのチャンス！



平成17年3月までに合併すると、合併特例法に基づく多くの特例措置や財政支援を、合併後の新しいまちづくりに活用できます。

平成17年3月までには、まだ2年半以上ありますが、協議や法律上の手続きには時間がかかるため、法定協議会を早期に設置し、具体的な検討に着手することが必要です。

より豊かなまちづくりのため、また、子どもたちが安心して暮らせる地域づくりのため、今こそ、市町村合併について皆さんも一緒に考えてみましょう。



お問い合わせ先 / 熊本縣市町村合併推進室

☎096-383-1111(内線3389・3390) FAX096-384-6561・3447
 ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/cities/gappei-hp/index.html>
 電子メール shichouson@pref.kumamoto.jp

知事室から



熊本県知事 潮谷 義子

天国のおじいちゃん
 ガイコツになっても 好きだよ

(「子どもの詩」文春新書)

五歳の女の子のまっすぐな気持ちと情感あふれる詩。やさしい語りかけの向こうに見える家族の豊かなふれあいと支え合いの姿に、心洗われる思いがします。

八月上旬、夏休みのちようど折り返しの頃。川遊びや虫とりに子どもたちが自然を駆け回る光景は少なくなりましたが、子どもにとって夏休みは胸躍るリフレッシュのひとときでしょう。

今年、県の重点施策に位置づけた「レスパイト・ケア」。これは子育てや介護にあたる方々の負担軽減と休息サービスの充実を図る取り組みです。近年、核家族化、少子・高齢化が進む中、子育てや介護が特定の人に集中している状況があり、そのストレス・不安・悩みを少しでも軽くすることができればとの思いで始めた、家族支援のプロジェクトと言えます。

子育て・老い・障害を社会全体で共に支えることで、県民の皆さんが、それぞれの地域で真のゆとりを実感できる暮らしを実現していきたいと、心から願っています。

特集2

子育て応援、介護支援で「ゆとりファミリー」の実現を目指します!

子育てと介護

近年、核家族化などによる小世帯化が進み、子育てや介護にかかる家族一人ひとりの負担が大きくなってきています。

また、これまで地縁や血縁によって強く結びついていた地域社会も、地方から都市への人の流れや、転勤などの増加で変化してきました。

地域でゆとりを持って、家族が子育てや介護をできる生活環境をつくるために、今、社会全体で家族を支えていく仕組みが求められています。



家族支援の視点からレスパイト・ケア・サービスの充実を

レスパイト・ケア: 子育てや介護の負担、苦痛などから一時的に親や家族を解放すること。

私が急病のとき、
要介護の父の世話を
どうすればよいか心配

核家族は楽なようで、
実はたいへんな部分もいっぱいある!

地域で子育てという前に
父親の参加を!

どんなサービスが
あるかわからない

困った!という時の
支援があれば

学校の放課後、子どもが
安心して過ごせる場所が欲しい

急な残業。
子どもの迎えが困る

子どもや高齢者が利用したい
と思える施設が近くにない

「障害者を助ける」ではなく、
自立を応援して

(コメントは「県政モニター会議」および「子育て・介護支援推進課の独自聞き取り」から)

新たな子育て・介護支援の取り組み

ファミリー・サポート・センター



子どもを迎えに来た父親(下)と、
一時預かり会員の池田さん(左)。

熊本市や大津町などでは、子育て家族を支援するため、子どもの一時預かりや送迎などを行う会員制の相互援助システム(1時間の基本料金600円)を運営しています。

介護ホーム



週1回利用の宮崎花鈴ちゃん(7歳)と、
入居者の菅本さん。

高齢者や障害児(者)の一時預かりや宿泊、入居ができる介護の「駆け込み寺」を目指し、玉東町社会福祉協議会が平成13年に介護ホームを開所しました。

ほほえみライフサポート事業



熊本養護学校の看護師、竹野さん(中央)。

熊本県は今年度から、熊本・松橋・球磨の県立養護学校3校に看護師を配置し、保護者に代わって児童・生徒の日常的な医療介護を行う事業を実施しています。

ゆとりある家庭から
社会のゆとりを
支えるハートを

こうした取り組みは、保護者や介護にあたる方のレスパイト(「休息」の意味)を図り、家庭にゆとりを創り出そうとするものです。

子どもと一緒に成長していく喜び、年齢や障害の有無に関わらず人生を楽しみ、幸福を実感できる「ゆとりファミリー」の社会を目指して、熊本県では、こうしたレスパイト・ケア・サービスの推進に取り組んでいます。

子育てや介護支援に関する県の取り組みについてのご質問やご意見は、下記までご連絡ください。

お問い合わせ先 / 熊本県子育て・介護支援推進課

☎ 096-383-1111(内線7205~7207) FAX096-385-0627

電子メール kosodate@pref.kumamoto.jp

知りたい! 県庁

皆さんの質問にお答えします。

Q

県庁ではいろいろな仕事をしていると思いますが、その成果や評価は、何を見れば分かりますか？

A

県では、平成十二年六月に策定した「熊本県総合計画パートナーシップ21くまもと」に沿って、さまざまな仕事に計画的に取り組んでいます。

(これらの仕事については、熊本県ホームページ「県の組織と業務」内の「各課のページ」のコーナーなどで中身をご覧いただくことができます。)

こうした仕事について、昨年度から、県民の皆さんへの説明責任を果たすことを目的に、「政策評価」をスタートさせています。これは、「県総合計画に基づく県の仕事(政策・施策・事業)の成果」について、県民の皆さんからの「意見・ご提案も



いただきながら評価をしていくことで、今後の県政の方向性を明らかにしようという取り組みです。昨年度実施した政策評価の結果は、熊本県ホームページ「政策評価」や県庁内の県民情報プラザ、各地域振興局で公



表していただきますので、ぜひ一度のぞいてみてください。

また、この八月中旬からは、平成十四年度実施中の政策評価(案)を、熊本県ホームページ「ご意見募集」内の「県政に係る意見提出手続(県政パブリックコメント手続)」に掲載しています。皆さんと一緒に、よりよい県政を実現していくために、ぜひご一読いただき、「意見・ご提案」をお寄せください。

熊本県政策調整課
お問い合わせ先 096-383-1111(内線3817)
FAX096-385-0627
電子メール seisakutyousei@pref.kumamoto.jp

くまもと 女性特派員 レポート

男女で築く豊かな社会 男女共同参画社会に向けて

男女共同参画社会という言葉をご存じですか？男女共同参画社会とは、「男だから」「女だから」といった性別による固定的な役割分担意識にとらわれず、お互いを尊重することで、一人ひとりの個性や能力を十分に発揮できる社会のことです。熊本県では、男女共同参画社会の実現に向けた活動拠点として、今年四月、「くまもと県民交流館パレア」と県民交流館パレア内に、「男女共同参画センター」を設けました。



インターネットも利用できる「情報ライブラリー」
女性を抱える問題や悩みについて電話や面接で相談にのってくれる「女性総合相談室」もあります。

今回私は、このパレアで開催されている、男女共同参画の視点を取り入れた実学講座「男女協働政経塾」に参加してきました。



くまもと女性特派員 小野 裕美子さん (熊本市)



熊本県立大学 石橋敏郎先生によるキャリアアップ講座

者が、身近な事例を通じた先生のわかりやすいお話を熱心に聴いていました。取材を通して、少子・高齢化が進む中、男性も女性も家庭の中で責任を担い、社会がこれを支援していくことが重要であるということを感じました。女性が自らの人生を自主的に設計し、自信と充実感を持ち、対等なパートナーとして男性と共に活動に参画していくことが必要です。また、男性も、従来の職場中心の考え方から家庭・地域へのバランスのとれた意識・ライフスタイルへの転換が求められています。



「女性総合相談室」では男性からの相談にも応じます

「男女協働政経塾」は、現行、中期・後期講座の受講生を募集中です。ぜひ皆さんも参加してみませんか。

「男女協働政経塾」に関するお問い合わせ先
熊本県男女共同参画センター 096-355-1187 FAX096-355-4317

県からののお知らせ

「道路交通法」一部改正 悪質・危険行為の罰則強化！

6月1日からの改正で、飲酒運転などに対する罰則などが大幅に強化されました。



〔改正例〕
飲酒運転の罰則

	改正前	改正後
酒酔い	2年以下の懲役または10万円以下の罰金	3年以下の懲役または50万円以下の罰金
酒気帯び	3カ月以下の懲役または5万円以下の罰金	1年以下の懲役または30万円以下の罰金

このほか、無免許運転などの罰則の改正および違反点数などの改正も行われています。

詳細は最寄りの警察署へお尋ねください。

お問い合わせ先
 熊本県民生活総室 交通安全係
 ☎096-383-1111(内線7406)
 FAX096-382-7403
 電子メール kenminsoushitsu@pref.kumamoto.jp

児童扶養手当制度の所得制限などが変わります

8月から、児童扶養手当制度が改正され、所得制限限度額や手当額などが見直されます。

所得制限限度額および手当額の改正
〔母子2人(扶養1人)世帯の場合〕
〔所得制限限度額に相当する収入額〕



	現行	見直し後
全部支給	204.8万円未満	130万円未満
一部支給	300万円未満	365万円未満

〔手当額〕

	現行	見直し後
全部支給	月額42,370円	現行どおり
一部支給	月額28,350円	月額42,360円~10,000円

所得の範囲の見直し/所得の範囲に養育費所得を含める。
所得の額の計算方法の見直し/
母である受給者について寡婦 かつ 控除を廃止する。
詳細はお住まいの市町村役場へお尋ねください。

お問い合わせ先
 熊本県児童家庭課 家庭福祉係
 ☎096-383-1111(内線7127)
 FAX096-383-1427
 電子メール jidoukatei@pref.kumamoto.jp

個人事業税の第1期納期は9月2日まで

個人で事業をされている方は、送付された納税通知書で、期限内に個人事業税を納付してください。



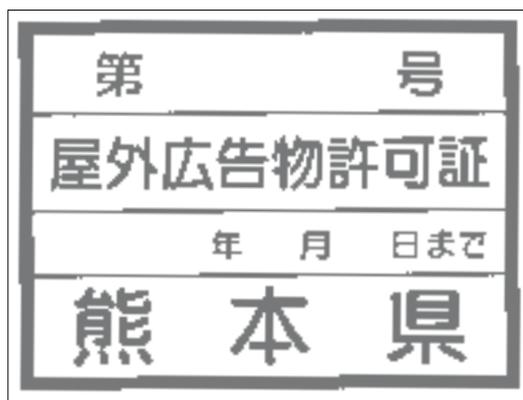
なお、税額が1万円を超す場合は、8月と11月の2期に分けて納めていただきます。

納期/第1期 8月1日(木)~9月2日(月)
第2期 11月1日(金)~12月2日(月)

個人事業税とは
事業を行う方は、道路や橋などの公共施設を利用されたり、県のサービスを受けて事業を行われていることから、それらの経費の一部を負担していただくために納めてもらう税金です。

お問い合わせ先
 熊本県税務課 課税指導班
 ☎096-383-1111(内線3363)
 FAX096-387-4901
 電子メール zeimu@pref.kumamoto.jp

その看板、許可を受けていますか？



屋外に広告物を設置する場合は、熊本県屋外広告物条例により、原則として許可が必要です。広告物の設置については、事前に各地域振興局土木部(熊本市内は熊本市都市整備指導課)にご相談ください。

お問い合わせ先
 熊本県都市計画課 景観整備室景観班
 ☎096-383-1111(内線6076)
 FAX096-387-1152
 電子メール toshikeikaku@pref.kumamoto.jp

水道法の改正により対象施設が拡大しました



水道の安全性の向上を図るため、4月から、学校や事業所などの居住者数が少ない施設でも、人の生活に多くの水が使われる場合(一日最大給水量が20m³以上)は、専用水道として水道法の適用を受けることになりました。これに該当する施設は9月30日(月)までに知事への届け出が必要です。

詳細は最寄りの保健所へお尋ねください。

お問い合わせ先
 熊本県生活衛生課 水道係
 ☎096-383-1111(内線7189)
 FAX096-387-5992
 電子メール seikatsueisei@pref.kumamoto.jp



中小企業者の皆さんを対象とした、新しい融資制度が始まりました。取引先に対して有している売掛債権を担保として、信用保証協会の保証のもとで金融機関から融資を受ける制度です。詳しくは、お近くの信用保証協会、またはお取引先の金融機関にお尋ねください。

お問い合わせ先
 熊本県信用保証協会
 ☎096-325-3221(代表)
 FAX096-352-7150
 電子メール info@kumamoto-cgc.or.jp

住民基本台帳ネットワーク 8月5日スタート

全国の市町村と都道府県などを専用回線で結び、氏名・住所・11けたの住民票コードなどにより本人確認ができる仕組みで、電子自治体の基盤となるものです。



パスポートの記載事項訂正の際などに、住民票の写しの添付が省略できるようになるほか、さまざまなサービスが8月以降順次実施される予定です。

住民票コードは、今まで提出されていた住民票の写しの代わりに、このネットワークから本人確認を正確・迅速に行うためのもので、今後お住まいの市町村から県民の皆さんに通知されます。また、このコードは、お住まいの市町村で変更ができます。

お問い合わせ先
 熊本県市町村総室 行政班
 ☎096-383-1111(内線3388)
 FAX096-384-6561
 電子メール shichouson@pref.kumamoto.jp

競争入札参加資格審査の申請受付中



熊本県では本年度から、新たに、警備、庁舎管理などの各種業務委託契約(物品調達を除く)について、競争入札参加資格審査の申請を受け付けることにしました。入札参加を希望される方は、8月30日(金)までにこの資格審査を受けてください。

申請方法などについては、熊本県ホームページの「県からのお知らせ」にも掲載しています。

お問い合わせ先
 熊本県出納局管理調達課 資格審査班
 ☎096-383-1111(内線6349)
 FAX096-381-9010
 電子メール kanriyoutatu@pref.kumamoto.jp

熊本県職員および警察官採用試験のご案内



試験の種類	第1次試験日
県職員(短期大学卒業程度)	9月29日(日)
県職員(高等学校卒業程度)	
警察官(警察官B)	10月13日(日)

受付期間/8月14日(水)~30日(金)
試験案内・受験申込書は県庁1階受付、各地域振興局総務課、各警察署などで配布しています。

お問い合わせ先
 熊本県人事委員会事務局総務課 任用係
 ☎096-383-1111(内線6834)
 FAX096-387-4813
 電子メール jinisoumu@pref.kumamoto.jp

イベント紹介参加者募集

日・韓・中ジュニア交流競技会

日本・韓国・中国の三カ国代表と熊本県選抜チームによる高校生の交流試合が開催されます。皆さんの応援をよろしくお願ひします。

期日 / 8月23日(金)~29日(木)

陸上競技	熊本県民総合運動公園陸上競技場
サッカー	大津町運動公園球技場・競技場
テニス	パークドーム熊本
バスケットボール	熊本県立総合体育館
ハンドボール	熊本市総合体育館
ソフトテニス	熊本県民総合運動公園メインテニスコート
卓球	熊本県立総合体育館
バドミントン	熊本市総合体育館
ラグビーフットボール	熊本市水前寺競技場
バレーボール	合志町総合体育館
ウエイトリフティング	鏡町勤労者体育センター

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.japan-sports.or.jp/kumamoto>

お問い合わせ先 (財)熊本県体育協会
 ☎096-388-1581
 FAX096-388-1584
 電子メール kumamotoken@japan-sports.or.jp

自然観察教室への参加者募集中



森林の中で体験しながら学習する自然観察教室を、毎月第3日曜日の午前中(午前10:00~)に開催しています。奇数月は小岱山(ビジターセンター周辺(玉名市))、偶数月は雁回山(雁回公園(富合町))で行っています。事前に申し込みが必要です。

定員:30人(先着順)参加費:100円(傷害保険料として)

8月18日(雁回山)...葉脈作り

9月15日(小岱山)...森林の動物観察

10月20日(雁回山)...雑木林の間伐体験

お問い合わせ先 熊本県森林整備課 みどり推進室
 ☎096-383-1111(内線5619)
 FAX096-383-7704
 電子メール shinrinseibi@pref.kumamoto.jp

県政ふれあい教室参加者募集

県政の取り組みを、施設や現場で体験学習できる「県政ふれあい教室(第2回目)」の参加者を募集します。今年度のテーマは『環境』です!!

水とみどりの財産づくり体験コース

出発地	実施日	体験学習地
県庁	9月28日(土)	水源かん養林の現地(西原村)ほか
	10月5日(土)	(地下水保全の取り組みです)

登山を含みますので、体力にある程度自信のある方雨天時には変更になる場合があります

環境体験学習コース

出発地	実施日	体験学習地
県庁	10月5日(土)	県環境センター、水俣病資料館

参加料/無料(昼食、飲み物などはご持参ください)

対象者/県内在住者(小学生以上)

募集期間/8月1日(木)~31日(土)消印有効

詳しい応募方法などは下記までお尋ねください。

お問い合わせ先 熊本県広報課 報道・広聴班
 ☎096-383-1111(内線3134)
 FAX096-386-2040
 電子メール kouhou@pref.kumamoto.jp

くまもと物語

25

熊本のむかし話

その九

飯田山と金峰山のせいぐらべ

—上益城郡益城町—

むかし、広い広い熊本平野の東と西に二つの山がありました。二つの山は、どちらも美しい姿をしていて、とても仲のよい山でした。

平野のなかを白い帯のように白川が、うねうねと海へ続いています。天気の良い日は江津湖の水がきらきらと光りました。

ある日、東の山が言いました。

「おれたちは、春が来ると若みどりのおそろいの服を着て、秋が来ると同じくつモミジの服を着るが、背の高さだけはおれのほうが高かよね。」

「いやいや、そぎゃんこつはなか。おれのほうが高か。あんたは天草の海は見えんらう」と西の山は言いました。

仲よしの二つの山は、背たけのこつではどちちもゆずらず、そこで阿蘇の神様に見てもらって、せいぐらべをすることになりました。

阿蘇の神様は長い長いいをもってきて、二つの山のてっぺんにわたしました。そして、ちよつとまん中に立つと、江津湖の水をひしゃくにくんで、いにながしました。

二つの山はかたをいからせ、背のびをしました。水は東に流れたり西に流れたりしました。神様は「はいはいと続けて水を流しました。するとどうでしょう。水はどどん東のほうへ流れていきました。」

「西の山が高い。西の山が高い」神様は大声でそう言うと、阿蘇へ帰っていきました。

西の山は夕日をいっばいあびて金色にかがやきながら、「やっばおれのほうが高かった。」と、胸をはって言いました。

東の山はうつむいて「あーあ、背の高さのこつなんか、言いださんならよかった。もう、どぎゃんこつでん言いださん。言いださん。」とくやしがりました。そこで人々は金色にかがやく西の山を「金峰山」、言いださん、言いださん、「とつばやいた山を「飯田山」と呼ぶようになりました。

飯田山の頂上にはそのときのとこの水がたまると言われるくぼみがあって、今でも水がたまっているといこととです。

出典「熊本の伝説」熊本県小学校教育研究会国語部会編



県広報のご案内

広報誌

「県からのたより」 偶数月発行



「コラためんなる」 奇数月発行
第16号 熊本のおいしい水

【配置場所】

県庁、県地域振興局、市町村役場、主な郵便局、金融機関、一部の書店、一部のコンビニエンスストアなど

「点字版・録音版広報誌」

「県からのたより」「コラためんなる」の点字版、録音版。詳しくは、次まで。

熊本県点字図書館 ☎096-383-6333

テレビ

RKK「週刊くまもと ケンケンぱ!」
毎週日曜日 10時15分~30分(字幕入り)

KKT「元気!くまもと」

毎週土曜日 17時55分~18時(手話入り)



ラジオ

RKK「ふれあいくまもと」
毎週火、木、土曜日 10時25分~30分

FMK「県庁ダイアリー」
毎週月、水、金曜日 8時40分~45分



メールマガジン

「気になる!くまもと」

毎週金曜日 無料配信中

熊本の魅力や最新情報などをいち早く「電子メール」と「専用サイト」でお届けしています。

お申し込みは、次のアドレスでどうぞ。

<http://www.kininaru-k.jp>

県庁舎見学のご案内

随時受け付けています。事前に予約が必要です。お問い合わせは、熊本県広報課まで。

☎096-383-1111(内線3134)

県広聴制度のご案内

知事への直行便

県政へのご意見・ご提案などを専用封筒と便せんなどで受け付けています。専用封筒と便せんは、市町村役場をはじめ公共施設などに置いています。

知事への提言広場

電子メールによる県政へのご提言などを受け付けています。県のホームページの「ようこそ知事室」から送信できます。

県行政相談

県行政に関するご相談をお受けしています。

月~金曜日、9時~12時、13時~16時

☎096-382-3504

県政パブリック・コメント手続き

県民生活に関係深い計画などを策定する際に、案の段階で、期間を設けてご意見を募集しています。詳しくは県のホームページをご覧ください。

球磨地域

芦北地域

くに 郷づくり通信

人吉・球磨地域の「石倉」をご存知ですか



農村にたたずむ石倉

人吉・球磨地域には、石造りの倉「石倉」が百数十棟も残されていて、あちこちで見かけることができます。明治後期から昭和30年ころまで主に米倉として造られており、JAやJRの大型倉庫から個人の倉まで、大きさやデザインもさまざまです。美しい農山村の風景にとけ込み、地域の生活文化を今に伝える威厳あるたたずまいを残しています。

最近では、石倉をレストランとして再生させようとする取り組み、石倉をめぐる石の文化に触れるツアーなど、石倉を活用した新たな魅力あるまちづくりの取り組みが広がり始めています。当地にお越しの際は石倉を探して、その素朴な魅力に触れてみませんか？



石倉めぐりツアーの様子



レストランへの再生を待つ石たち

お問い合わせ先
熊本県球磨地域振興局 振興調整室
☎0966-24-4111(内線332)
FAX0966-28-3136

第5回 観月会(薪能)

かんげつかい たきぎのう



400年前につくられた佐敷城。この佐敷城跡の二の丸広場で、恒例の観月会が開催されます。

観月会では、日本の伝統芸能で650年以上続いている能楽(薪能)の公演を実施します。喜多流喜秀会「狩野琇鵬」氏の能のほか、仕舞・狂言も上演しますので、伝統芸能・文化の香り高い「あしきた」の地で、ぜひ荘厳な世界をお楽しみください。

このほか、火縄銃演舞会(肥後伝承砲術の連射・剣舞・居合抜き)や、お茶席、地酒、月見だんご、月の観測会なども楽しめます。皆さんのお越しをお待ちしています。



場所 / 芦北町「佐敷城跡二の丸広場」特設会場(雨天の場合 しるやまスカイドーム)

日時 / 9月20日(金)
火縄銃演舞会 17:00~
鏡開き 18:30~
薪能 18:50~20:30

入場料 / 1,000円(中学生以下無料)

交通案内
JR / 熊本駅 - 佐敷駅 特急で40分、普通で80分
車 / 南九州西回り自動車道日奈久ICから
国道3号線で30分
船 / 天草龍ヶ岳から不知火横断フェリーで60分

お問い合わせ先 / 芦北町教育委員会 社会教育課
☎0966-82-2511(内線241) FAX0966-82-5711

来て見てだより

県施設の催しご案内

県立美術館分館(熊本市) ☎096-351-8411

<http://www.pref.kumamoto.jp/institution/museum>

8月9日(金)~9月16日(月) 生誕百年記念



棟方志功展

「釈迦十大弟子」など、約150点の代表作を展示。

休館: 月曜日(9月16日を除く)
有料: 一般900円
(前売・団体700円)
高校・大学生500円
小・中学生300円

伝統工芸館(熊本市) ☎096-324-4930

<http://cyber.pref.kumamoto.jp/kougei>

9月3日(火)~29日(日)

海を渡った有田の陶磁器展

江戸時代から世界中で愛されてきた有田焼。そこで現在活躍する若き陶芸家の作品を紹介します。
休館: 月曜日(祝祭日の場合は翌日)
有料: 大人200円、大学生130円、高校生以下無料。

装飾古墳館(鹿本郡鹿央町) ☎0968-36-2151

<http://www.pref.kumamoto.jp/construction/section/kofunkan>

8月11日(日)・18日(日)・25日(日)

古代デイキャンプ

古代の衣食住を1日かけて体験します。
定員: 各日とも30人(電話申込[多数の場合抽選])
有料: 小学生以下500円、中学生以上1,000円。

農業公園(カントリーパーク) 菊池郡合志町

<http://www.country-park.jp> ☎096-248-7311

8月22日(木)~24日(土)

アグリフューチャー2002くまもと

豊かな農業を築くための農業機械などの実演・展示。
入園料: 当イベント期間中は無料。

県立劇場(熊本市) ☎096-363-2233

<http://www.kengeki.or.jp>

8月31日(土) 14:00開演
閉館20周年記念
音楽劇「ふたごの星」

宮沢賢治原作。水晶のお宮に住む、チュンセとポウセのふたごの星の物語。
有料: 大人2,000円
高校・大学生1,000円
4歳~中学生500円

アスペクタ(阿蘇郡久木野村) ☎09676-7-1161

<http://www8.ocn.ne.jp/~aspecta>

8月31日(土) ラストサマーファンタジー
2002 in アスペクタ

阿蘇の夕暮れに繰り広げられる「ダンスマン」ライブと2000発の花火。有料: 前売500円、当日700円(ローソンチケット・チケットぴあで発売中)。

環境センター(水俣市) ☎0966-62-2000

<http://www.kumamoto-eco.jp>

9月15日(日) 8:30~

ネイチャーゲーム

自然豊かな水俣の海岸で楽しいゲームをします。カニや貝、イソギンチャクとお友だちになろう!!

定員: 県庁発バス20人、八代発バス20人、現地集合(水俣)20人。
申込: 8月16日(金)~9月10日(火)
(はがき申込[多数の場合抽選])。無料。

豊野少年自然の家(下益城郡豊野町)

☎0964-45-3855

<http://www.parea.pref.kumamoto.jp/manabi/toyono/index.htm>

9月7日(土)~8日(日) 豊野「ウキウキ」自然村
ニュースポーツやオリエンテーリング、きもだめしをして楽しめます。 有料: 2,500円。

対象: 小学校3年生~中学生。定員: 120人。
申込: 8月20日(火)~31日(土) 電話申込順)

菊池少年自然の家(菊池市) ☎0968-27-0066

<http://www.parea.pref.kumamoto.jp/manabi/kikuchi/index.htm>

9月7日(土)~8日(日)

入門! 原始らいふ

文明の利器に頼らず、自然のものを使って生活体験することで、自然のすばらしさを感じ、自然と共存してきた先人の知恵・現在の便利さを学びます。
対象: 小学校3年生~中学生。

定員: 50人。申込: 8月30日(金)まで電話申込順)。
有料: 3,000円程度(食費宿泊費込み)。

あしきた青少年の家(芦北郡芦北町)

☎0966-82-3092

<http://www.parea.pref.kumamoto.jp/manabi/asikitay>

9月7日(土)~8日(日)

シーカヤック&アウトドアクッキング

七浦海岸のシーカヤック探訪、ダッジオープンを使っでの調理を楽しむことができます。
(カヌー持ち込み可) 対象: 成人。定員: 28人。
申込: 8月21日(水)~9月2日(月) 電話申込順)。
有料: 3,500円程度(食費宿泊費込み)。

天草青年の家(天草郡松島町) ☎0969-56-1650

<http://www.parea.pref.kumamoto.jp/manabi/amakusa/index.htm>

9月7日(土)~8日(日)

藍の海で深めよう
親子の絆を!

釣り体験・親子料理教室など、海に山に家族でチャレンジ。
対象: 家族。
定員: 70人程度。
申込: 8月20日(火)~9月2日(月) 電話申込順)。
有料: 3,000円程度(食費宿泊費込み)。

このほかにも、いろいろな催しを行っています。詳しくは各施設まで直接お尋ねください。

「県からのたより」へのご意見をお待ちしています。

〒862-8570 熊本市水前寺6丁目18番1号 熊本県広報課「県からのたより」係
☎096-385-2096 FAX096-386-2040 電子メール kouhou@pref.kumamoto.jp

熊本県ホームページ

<http://www.pref.kumamoto.jp>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

14 総調 広
002-2